

第2次氷川町総合振興計画 2018→2027

小さなまちで大きな幸せを感じる「田園都市・氷川」



第2次氷川町総合振興計画
令和6年度効果検証

令和6年11月

第2次総合振興計画について

1. 計画の位置づけ

行政運営の総合的な指針であり、本町が目指すべきまちの将来像を掲げ、今後のまちづくりの方針や5つの未来で取り組むべき方向性を明らかにした、本町の行政運営における最上位計画です。

2. 計画の構成と期間

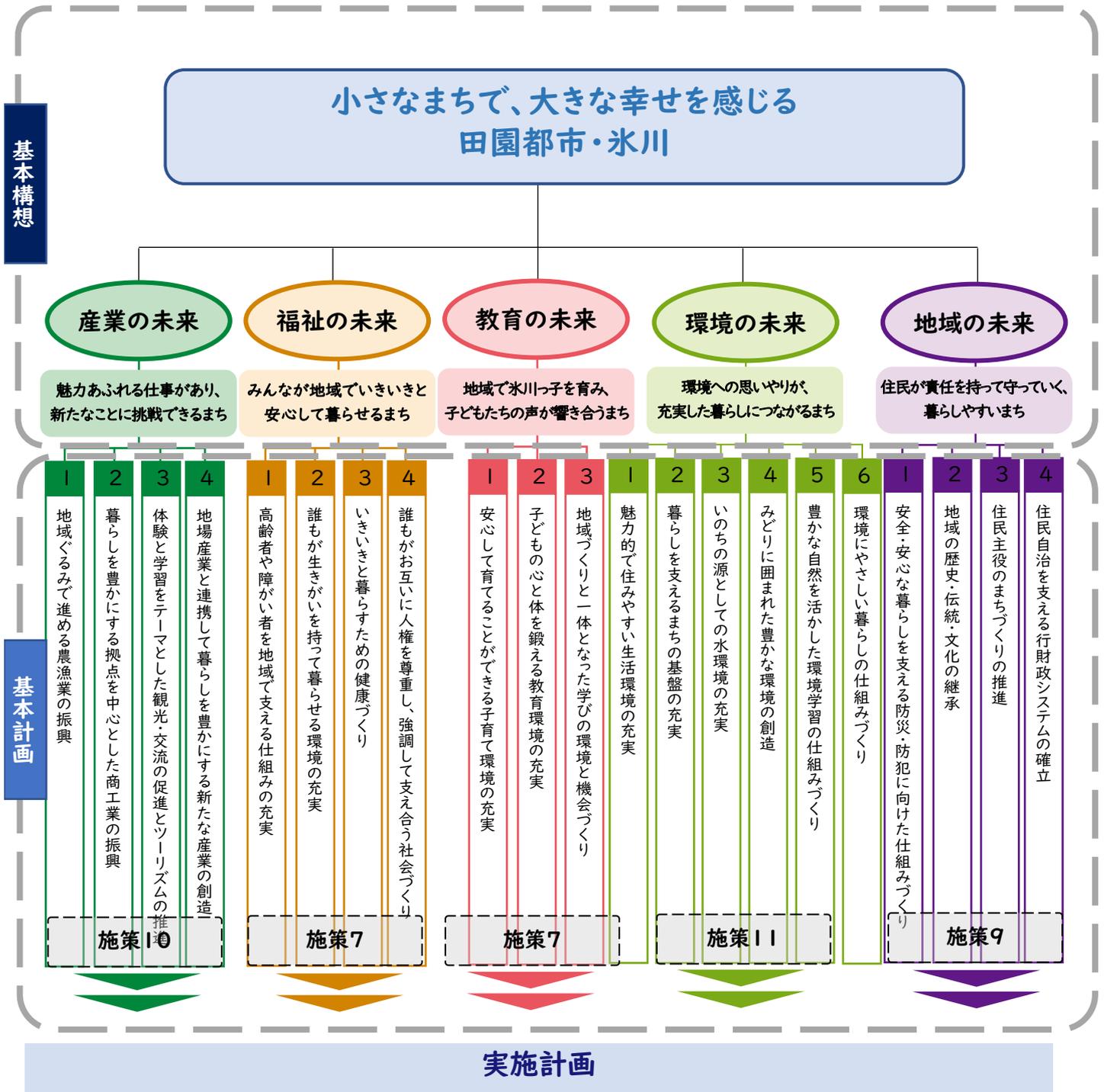
本計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」「地区別計画」で構成されており、計画期間は、平成30年度を初年度とする令和9年度までの10年間としています。

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
団体自治 の計画	基本構想(10年間)									
	前期基本計画(5年間)					後期基本計画(5年間)				
	実施計画(3年間)							実施計画(3年間)		
住民自治 の計画	地区別計画(10年間)									

基本構想	目指すべきまちの将来像を示したもの
基本計画	将来像の実現に向けた基本施策を定めたもの
実施計画	施策をもとに具体的な事業内容を定めたもの
地区別計画	地区のまちづくりの目標と、その目標を実現するための取り組みを定めたもの

3. 施策の体系図

基本計画は、それぞれの未来ごとに掲げる21の「施策の基本方向」と44の「施策」で構成されており、そこから具体的な事業内容を定めた実施計画へとつながっています。



4. 施策事業の効果検証

一つひとつの施策事業について、行政評価に基づく効果測定を行うとともに、その結果を踏まえた庁内会議による効果検証（内部評価）を行い、施策の体系ごとに次の評価区分による総合的な評価を行いました。

A	順 調	目的を達成した／目標に向かって順調に進んでいる
B	概ね順調	目標に向かってある程度進んでいる
C	遅 れ	目標に向かってあまり進んでいない
D	見 直 し	目標の達成には遠く、早急に見直しが必要
－	把握困難	上記に該当しない

5. 第2次氷川町総合振興計画後期基本計画 施策事業の評価結果

(1) 全体評価

施策大綱/施策		順調 A	概ね順調 B	遅れ C	見直し D	把握困難 —
産業の未来	10	1 (10.0%)	8 (80.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
福祉の未来	7	0 (0.0%)	5 (71.0%)	1 (14.0%)	1 (14.0%)	0 (0.0%)
教育の未来	7	2 (18.0%)	4 (36.0%)	1 (9.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
環境の未来	11	3 (27.0%)	5 (45.0%)	3 (27.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
地域の未来	9	1 (11.0%)	6 (67.0%)	2 (22.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
全体	44	7 (16.0%)	28 (64.0%)	8 (18.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)

- ・ 44の施策のうち35の施策（79％）が、順調または概ね順調との結果であった。
- ・ 8の施策（18％）で目標達成に向けての遅れが見られており、施策事業の改善に取り組む必要がある。
- ・ 1つの施策（2％）が目標達成には遠く早急に見直しが必要となった。